

健康に気をつけて下さい。

10月14日に53歳の誕生日を迎えました。この歳まで大きな病は有りませんでした。9月の26日夕方、凄く目が疲れるので行きつけの眼科に行きました。すると黄班上膜ではないかと診断されました。そして大阪市港区に有る多根記念病院を紹介され、9月30日に同病院に行きました。すると案の定、正式に黄班上膜と診断され11月21日入院、11月22日手術と言う日程を決められました。

この目の病（完治するので心配の無い病ですが、約2ヶ月間目を休ませながら仕事をせざるを得ないのです。）は小生にとって辛いです。小生の仕事は木材の目利き屋です。この仕事は健康な目を持っていなければ出来ない仕事です。日頃内臓・心臓・脳等の臓器ケアは、風邪とか頭痛とかの病が出たとき十二分に検査をしていました。目は少し見にくいとは1年位前からは自覚していましたが、まさか手術をしなければいけない病に陥るとは思いもしてませんでした。

9月30日は服部商店の決算日です。9月末から広葉樹シーズンが始まり昨年以上に色々な事にチャレンジしようと考えております。その矢先に目の病が発覚したのです。1年に1回は人間ドックに行く必要が有る年齢に達していることを自覚していなかった自分自身に凄く腹が立っています。又凄く神経質になっている自分がいる事も解っていますが、少しの期間時間を与えて下さい。

服部新聞10月号・11月号は発行内容を簡素にせざるをえませんが宜しくご理解願います。

今シーズンの広葉樹のマーケット

9月22日に今シーズンの広葉樹の幕が北海道旭川の銘木市で開けましたが、昨年以上に良質材の不足感が感じられる第348回銘木市の展開でした。全体の95%は春の残材でしたが、約5%は秋に伐採したフレッシュな新材でした。新材はカツラ・ナラ・セン・タモ・マカバが出品されていましたが、価格は昨年と同じかそれ以上の価格でした。小生も優良材のカツラ原木3本を買い付けしましたが、少しでも油断すれば、仕入れゼロの可能性もありました。しかし市の下見の段階で、小生が木の木口を少しハツリで削ったのですが、他の業者の方も見ているのか大きく木口を削っていたのです。その削り方を見て、神奈川県の大敵のライバルの業者が来ているのではないかと感じました。案の上4本下見していたのですが、神奈川県のライバルに1本取られました。

NO5008 240 X 42・落札者関東の業者	NO5018 240 X 40 服部落札	NO5056 240 X 52 ライバルに取られる	NO5054 240 X 52 服部落札	NO5064 300 X 58 服部落札
-----------------------------	----------------------------	---------------------------------	----------------------------	----------------------------

← 末の方 5008番以外は全て下見をして入札の札を入れました。 元の方→

私は当初このカツラ原木5本の内、良くない5008番を除く4本の買い付けは可能だと判断していました。それは大震災以降、国内経済は決して順調ではなく、需要面が春に較べ弱いので価格は少し下がると考えていました。しかしこの時期に僅かの優良材をめぐってしのぎを削る入札が起こっている事は異常な事だと思います。



広葉樹原木の仕入れ競争は益々厳しくなります。先々昨年以上の全ての広葉樹原料価格の高騰が予測されます。

現地挽きの麻薬に慣れきった材木屋

服部商店も他のライバルの同業者と同じく南洋材の現地引き製材品を 20 年位昔から多く扱ってきました。しかし昨年末位から、南洋材の現地挽き製材品の入荷が思わしくなくなる兆候が出てきました。しかしその当時は危機感を余り感じていなかったと今から思えば思います。そして今年のゴールデンウィークにマレーシアのサバ州のコタキナバルに家族旅行で現地を訪れ、久しぶりに自分の目『凄く国が発展し多くの木材資源を伐採しなくても経済が循環する、観光資源と新たに開発された石油資源によって国が潤っている状況』で確かめたにも拘わらず、南洋材の生産国つまりマレーシア・インドネシアの現地挽き木材『服部商店の必要な商品はアガチス材の平割りの製材品です』の対日本向けの数量が今後確実に確保出来なくなる事は容易に想像できたと思います。

しかし小生は今年の 5 月の時点で何の行動も起こしていませんでした。そして 6 月になった時、この状況『アガチス平割りは昨年並みの価格で昨年並みの数量の確保は無理と言う小生の胸の中の予測』は当分続くので、何らかの行動を起こす必要に迫られました。しかし簡単に行動には移せませんでした。それには理由があります。

- 1、優良なアガチス原木の仕入先が有るのか。
 - 2、日本に輸入されているアガチス原木から製材した材と現地挽き製材品との品質の比較をどう考えるのか。
 - 3、国内に輸入されて約 1 ヶ月位時間が経過すると原木自体に塩分が入り製材品に悪影響を与えてしまう危険性の除去は可能か。
 - 4、約 20 年間アガチス原木の仕入れをしていませんでしたので、小生の原木を見る目が衰えていないかと言う問題。
 - 5、現地挽き製材品との比較の上でどんな形のどんな品質の製材品を作れば良いかと言う問題。
 - 6、現地挽き商品は僅かでは有りますが入荷してくると思います。その商品も扱いながら自家工場で製材する商品も扱うという事は、自家工場の製材品のグレードは現地挽き製材品に負けない品質が求められます。その問題をクリア出来るのか。
 - 7、服部商店でアガチス原木の仕入れから製材等の流れを全部把握しているのは小生だけです。其れを私の片腕の工場長に教える必要が有りました。この問題をどう解決していくか。
 - 8、トレーラー等の輸送手段の問題。運賃コストの問題が有りました。
 - 9、服部商店の工場で長材（8 メーター～13 メーター位の長さ）原木を降ろす事が出来るのか。工場の安全な仕事が可能なのかと言う問題です。
 - 10、チェーンソーで長さを製材出来る長さに切断するのですが、その作業が容易に出来るのか。
 - 11、板を干す場所は何処にするのか。木に優しく乾燥させる為の場所作りは可能なのか。
- 1～11 まで簡単に書きましたが、まだまだ多くの問題が有ったと思います。しかしこの問題を一つ一つクリアして今回 3 本のアガチス原木を製材しお客様に喜んで頂ける製材品が出来たと思います。



他社のアガチス国内挽き製材品



服部商店の国内挽き製材品



今回仕入れた全体のサラワク州産のアガチス原木



買い付けたアガチス原木



買い付けたアガチス原木



買い付けたアガチス原木



アガチス原木を積んで入荷したトレーラー



2台のリフトを駆使し降ろす



リフト2台で降ろした長いアガチス原木



現場に降ろしたアガチス原木



玉切りしたアガチス原木



2日間斜めにして水を切る



寸検済み（乾燥後耳を取って商品にする）



今回取り入れた斜めに干す工夫

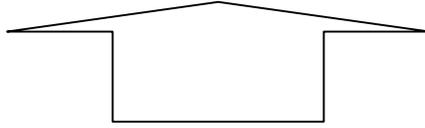
前のページから14枚の写真を使い皆様にアガチス製材品を作る流れを見て頂きました。長年アガチス原木を触っていなかった為に如何にしたら良い製材品をお客様にお届け出来るかを真剣に考え、行動指針とも言える1~11のアガチス原木を取り扱う為の問題点の整理から、順番に進む作業の手順の写真を交えてご説明申し上げました。あくまで材木屋としては極当たり前の仕事内容を書いただけです。何も凄い事を書いているのでは有りません。昔に比べ多少工夫はしましたが、服部商店に入社した頃、今から28年昔の事を一つ一つ作業手順を思い出しながら行いました。正直足の裏が震える局面も有りましたが、何とかこなせたと思います。

インドネシア・マレーシアの南洋材の現地挽き製材品を作る技術は日本人が伝授した技術です。アガチス材の現地挽き製材品が日本に入ってきたのは今から30年位前だと思います。徐々に品質が向上し、国内挽き製材品より高品質になったのは約20年位前だと思います。そして20年間我々材木屋の売り上げに貢献してくれた南洋材の現地挽き製材品でありますが、マレーシア・インドネシアの天然林の伐採制限が強化される2014年まであと3年です。誰も伐採制限がどのような形で実施されるか解りません。多少解っているのは今年4月1日から実施された伐採制限（直径60センチ以下の原木と1メートル20センチ以上の原木は伐採禁止となりました。）だけです。

小生も現地挽き製材品と言う商品が永遠に続くと思って取り組んで来たと思います。しかし現地の経済発展・日本以外の他国のバイヤーの影響力の増大、資源の枯渇化等々色々な問題が山積している南洋材の現地挽き製材品が一つの曲がり角に来ているのは事実だと思います。又日本向けの良質の現地挽き製材品を作る為に多くの日本人及びそれに携わる現地の方々が本当に苦勞して作っている事を知らない人が大変多くいる事も事実だと思います。

現在の状況は日本国内に輸入される南洋材の現地挽き製材品が楽に売り上げを生んでくれた時代の終わりを暗に示しているのではないかと現在思っています。

FAX 072-422-8577



北海道木材視察会のアンケート

広葉樹原木を仕入れるシーズンです。9月も北海道に仕入れて出掛けました。10月以降も北海道に広葉樹原木の仕入れて毎月出掛けます。お客様に良い商品をお届けする為に出掛けます。

広葉樹原木全体の品質低下は著しい状況です。その状況を服部新聞でご報告していますが、一度は北海道に行きたいと思う方がいらっしゃいましたらと思いアンケートを作りました。

- * 今年の11月～来年の3月までが広葉樹シーズンの最も盛りです。
- * 5回の広葉樹銘木市があります。1回に付2名の方しか一緒にお連れ出来ません。
- * 全ての旅行経費は自己負担でお願い致します。

アンケート

1、北海道の広葉樹原木の状況を見たい

はい

いいえ

2、見たいという方に御願致します。開催の決まっている11月と12月の予定を下記に書きます。

11月18日が旭川の銘木市です。見学できるのは11月17日です。

12月16日が旭川の銘木市です。見学できるのは12月15日です。

この日程で行きたいという方

はい

いいえ

3、はいと言う方には後ほど、北海道の視察旅行の細かい案内を送ります。

会社名	
お名前	
連絡先住所	
連絡先電話と携帯電話	
連絡先 FAX	

〒596-0011

大阪府岸和田市木材町16-1

（服部商店）

TEL 072-438-0173・0511